

## 窯業同窓会関西支部講演会 懇親会

昨年(2007)の10月25日(土曜日)、近畿大学本部キャンパス(大阪府東大阪市)にて窯業同窓会関西支部講演会がはじめて行われました。窯業同窓会関西支部は、福長同窓会会長を始め役員・幹事の皆様のご尽力を得て、昨年の初めに本格的に始動し始め、これまでに名簿作成と会員への発送を行い、このたび支部主催の講演会ならび懇親会の開催にはじめてこぎつけることとなりました。講演会には、窯業同窓会からは会長の福長脩先生をはじめとする12名、蔵前工業会から11名と、合計23名の方々にご参加いただきました。

講演会の前半では、近畿大学原子力研究所の堀口哲男先生(平7修原)と杉山巨先生(平7修原)の案内のもと、原子力研究所所有の原子炉を見学しました。この原子炉は、わが国最初の民間原子炉・大学原子炉として運転を開始し、現在もなお極低出力(1W)用原子炉として教育・研究分野で大活躍しているとのことでした。一通り見学した後、原子炉の前で集合写真を撮りました。

講演会の後半は、原子力研究所の鶴田隆雄教授(S42修原 S45博原)に「原子力開発の意味」という演題でご講演いただきました。原子炉の原理、種類、日本の原子力発電所を取り巻く環境、ならびに近畿大学原子炉の役割について懇切丁寧にお話していただきました。「近畿大学原子炉は住宅街の真ん中にもあるのにもかかわらず何も苦情がないのは、日ごろから各種イベントを行うことで住民の理解を十分に得ているからである」という言葉が印象的でした。

講演後の懇親会には18名が参加し、日ごろなかなか出会うことができないメンバーとの間で親睦を深めました。最後に、窯業同窓会関西支部のさらなる発展を約束し、盛会のうちに散会しました。

最後になりましたが、講演会の開催にあたり近畿大学原子力研究所の鶴田隆雄教授、堀口哲男先生、杉山巨先生に多大なるご尽力をいただきましたこと、ならびにお忙しい中を遠路大阪までおいでいただいた窯業同窓会会長福長脩先生に感謝申し上げます。



窯業同窓会関西支部幹事長 岩崎光伸 (S62 無機 H1 無機修 H5 無機博)